(ご参考) 2005年3月28日

一汽マツダ汽車販売が役員人事を発表 - 新会社の開所式を開催 -

中国最大の自動車グループである第一汽車集団(FAW)およびその子会社である一汽乗用車有限公司(FCC)とマツダ株式会社が本年3月1日付けで設立した合弁販売統括会社「一汽マツダ汽車販売有限公司(FMSC)」が、3月28日(月)、吉林省長春市のホテルで開所式を開催し、政府や報道関係者に新会社を紹介するとともに、同社の役員人事を発表した。

新会社は3月1日から営業を開始しており、総経理(社長)にマツダ(株)の山田憲昭中国事業本部副本部長が、副総経理に FCC の于洪江(Yu Hongjiang)副総経理が就任した。また、董事長(取締役会長)は FAW の安徳武(An De Wu)副総経理が、また副董事長にはマツダ(株)の中国事業担当である尾崎清取締役専務執行役員が就任している。

開所式は長春市のホテルで開催され、来賓に吉林省副省長の牛海軍氏(Niu Hai Jun)氏、長春市副市長の張安順氏(Zhang An Shun)氏他を迎え、出資会社の第一汽車集団およびマツダ(株)、ディーラー関係者ら合計約 200 名が出席して新会社の門出を祝った。マツダ(株)からは、尾崎専務執行役員と太刀掛哲執行役員が出席した。

第一汽車集団の安徳武副総経理は、「FAW グループとマツダが設立した新会社は3社協力の大きな成果である。ここ数年でマツダの商品は中国の自動車のトレンドを創りだすとともに、運転を楽しむ時代の先駆けとなるだろう。一汽の豊富な資源や販売経験とマツダの先進的なマーケティングのノウハウを融合して、強いマツダブランドを作っていきたい。この共同事業は必ず素晴らしい成果に繋がると確信している」と述べた。

マツダの尾崎清取締役専務執行役員は、「マツダは成長する中国市場での中期目標として 2010 年に 30 万台を生産、販売する体制を構築する計画である。第一汽車集団と設立した新会社は、生産能力の 拡大とともに、中期目標達成のための最も重要な施策のひとつである。総経理に就任した山田憲昭氏は、アジア・オセアニア市場を中心に販売・マーケティング、部品ビジネスなど幅広い経験を積んだ専門 家で、マツダが自信を持って派遣した人物である」と述べた。

新会社の総経理に就任した山田憲昭氏は、「あらゆる活動においてお客さま第一主義を徹底し、お客さまから最高の信頼を勝ち取ることを経営の基軸に据えて、業界トップレベルの質の高い販売ネットワークの構築を目指す」と抱負を述べた。

一汽マツダ汽車販売有限公司は、資本金1億元(約14億円)で、一汽乗用車が70%、マツダが25%、第一汽車集団が5%出資して設立。従業員数は127名。新会社は、将来中国におけるマツダブランド車の卸売りを統一的に行うことを目的として設立された販売統括会社である。

マツダは2001年5月から本格的に中国市場に進出し、これまで生産、販売ともに大きく成長してきた。 2003年の一汽乗用車(FCC)と一汽海馬(FHM、海南)の合計販売台数は前年比248%増となる80,075台、2004年は乗用車市場の競争が激化するなか前年比21%増となる97,132台で、乗用車の全需を3年連続で大きく上回る成長を遂げた。

<会社概要>-資料-

会社名: 「一汽マツダ汽車販売有限公司」

中国名:一汽馬自達汽車销售有限公司

英語名: FAW Mazda Motor Sales Co., Ltd.(FMSC)

会社設立日: 2005年3月1日

所在地: 長春市緑園区東風大街112-1

資本金: 1 億元(約 14 億円)

出資会社: 一汽乗用車(中国名:一汽轎車股份有限公司、FCC) 70%

マツダ株式会社(中国名:馬自達汽車株式会社) 25% 第一汽車集団 5%

役員: 董事長(取締役会長) 安徳武(An De Wu)(第一汽車集団副総経理)

副董事長 尾崎清(マツダ株式会社取締役専務執行役員)

他 4 名

従業員数: 127名